

令和5年度 公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団事業報告

事業活動概要

当財団が緑の基金として発足し、公益財団となって11年目となる令和5年度は、公益財団法人としての使命を更に意識しながら、花と緑のまちづくりに寄与するための各種事業の推進に努めた。緑地の保全をはじめ、公園花壇や公共施設への花の普及、市民の花バラの普及促進などの事業においては、市川市と連携するとともにボランティア団体、地元企業、各種団体との協働によって推進した。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたこともあり、「いちかわローズフェア」などの各種イベントも可能な限り行った。

これまで、公益目的事業の拡大に努めてきたが、市からの受託事業の大幅な削減により厳しい状況を迎えていたが、令和5年度新たに、第一庁舎南側植栽、補植管理事業を受託し、公益事業の拡大につなげることができた。又、今後の事業の拡大に対応していくため組織体制を整えるとともに、適切な財団運営のために必要な規程等の整備と改正を行った。

なお、公益目的事業の安定的かつ計画的な推進のため、収益事業の確保・拡大をはじめ、基本財産の適正かつ効率的な運用に努めた。

第1 公益目的事業

1. 花と緑に関する講座の開催

花と緑の普及啓発を図るため、各種講座を開催した。特に将来的な公園緑地管理の受託を考慮し、市民参加の担い手となるボランティアを養成していく講座を引き続き開催した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組み、市民の皆様が安全に楽しく学べる講座となるよう努めた。

① 市川の緑地を知るボランティア体験教室

森林の生態、保全方法、管理技術等を学ぶ講座。

里見公園及び市内緑地の現場で、4月～7月全6回、参加人数は26名。

② はじめてのバラ講座

市民の花バラを美しく咲かせるため、バラの育成、管理について学ぶ年間講座。

大洲防災公園(夏期剪定、冬期剪定は里見公園)にて、

4月～翌年2月まで全8回。参加人数は30名。

③ 素敵なガーデニング講座

園芸各分野の専門家の講師による聴講式講座。

全日警ホールにて、4月～11月全6回、参加人員は64名。

④ ナチュラルガーデナー養成講座

講師と共にナチュラルガーデンを作り、適切に管理するために必要なお庭造りの基礎知識を学ぶ講座。

大洲防災公園内ローゼンハイム広場にて、4月～翌年3月全7回、参加人数30名。

⑤ やさしい園芸基礎講座

家庭園芸の技術を楽しく、実践的に基礎から学ぶ講座。

まちづくり財団2階研修室にて、4月～11月全6回、参加人数は20名。

⑥ 庭木の手入れ講座

自宅の庭木の手入れ方を植木の専門家から学ぶ講座。

里見公園にて5月～11月までに全5回。参加人数は20名。

⑦ ハンギングバスケット講座

壁や門扉を利用して花や緑を楽しむハンギングバスケットづくりを学ぶ講座。

里見公園、南行徳市民センターにて、5月～12月までに各全2回。

参加人数は里見公園20名、南行徳市民センター15名。

⑧ 寄せ植え講座

季節の寄せ植えを学ぶ講座。

里見会場(木曜コース、土曜コース)、南行徳市民センター(木曜コース、土曜コース)において、5月～11月の各全3回。

参加人数は里見公園各コース30名、南行徳市民センターは、木曜コース28名、土曜コース13名。

⑨ 親子で木工工作体験講座

親子で自然の素材を使った木工工作を体験し、自然に親しむ講座。

11月に開催したクリスマスリース作りには親子10組が参加し、12月に開催したミニ門松作りには親子12組が参加、又3月に初めてミニツリーハウスづくり講座を開催。参加人数は親子で5組が参加した。

⑩ その他単発講座

・多肉の寄せ植え講座

人気の多肉植物を使った寄せ植え講座を里見公園にて9月に開催。参加人数は20人。

・ワンランク上の寄せ植え講座

令和5年度の寄せ植え講座受講生を対象に、花材、植付けのやり方など、ワンランク上の寄せ植え講座を里見公園にて3月に開催。参加人数は26名。

・公民館主催の講座

「初めてのガーデニング入門～寄せ植えまで」全3回、参加人数は16名。

クリスマスの寄せ植え講座、参加人数は20名、ミニ門松づくり講座参加人数は親子で10組。

2. 園芸相談

市民から来訪、電話、葉書き等で寄せられる園芸に関する相談に対し、随時対応した。

3. 催し物等の開催

花と緑のまちづくりに関する普及啓発を図るために以下の催し物を開催した。

また、各種行事に参加・協力して、財団のPR及び花と緑の普及啓発を推進した。

① いちかわローズフェアの開催

市民の花バラの展示及び普及促進、並びに花と緑のまちづくりの啓発を図るため、里見公園バラ園を中心にして、「いちかわローズフェア」を5月13日に開催。今年度は、新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられたことから、通常通りの開催としたが、雨天の為、入場者数は例年より少ない人数となった。

② 樹木の名札付けイベントの開催

5月に開催した「いちかわローズフェア」の中で、「樹木クイズラリー」として行った。参加人数は、大人19名、子供9名。

③ 各種イベントへの参加

市川市主催の、「水辺のまちづくり いちかわ水辺クルーズ」が、7月30日(日)に開催され、参加協力した。協力内容としては、日々草の苗を7ケース、かき氷の無料配布、パンフレット等の配布を行い、財団のPRを行った。

また、「いちかわ市民まつり」に木工クラブと共に参加し、花苗の販売を行った。(アリッサム、ビオラ120株ずつ)

「いちかわ環境フェア」では、例年通り、いちかわ森の交流会のパネルや資料の展示等を行い、花と緑のまちづくりについて啓発を行った。

④ 秋バラ観賞会

令和5年度は試行で、秋のバラも楽しんでいただけるよう、秋バラ観賞会を開催し、ミニバラや飲料の販売等を行った。

4. 市民活動の支援

花と緑のまちづくりに貢献する市民活動を支援した。(ボランティア支援)

① 緑のボランティア活動支援(いちかわ里山倶楽部他7団体)

緑地の自然調査、適正な管理作業などのボランティア活動を行っている登録市民団体等に対し支援を行うとともに、1団体あたり5万円を限度として8団体に対して400,000円を助成した。

又、機械の老朽化に伴い、備品の買い直しや道具の支援を行い、チェーンソー講習会や、スキルアップ研修会を開催した。

② 公園花壇管理(市川ガーデニングクラブ)支援

市民等で組織する市川ガーデニングクラブ(57団体、約533名)、都市公園等57か所(1267.15㎡)で行う花壇管理に関するボランティア活動に対して、年に2回、花苗延23,136株、他肥料、堆肥、土などの支援を行った。

また、花で満たされた潤いのある街づくり活動をする、自治会等20団体に対して、12月に葉牡丹2,454株の配布を行った。

③ バラのボランティア活動支援(ローズオブ市川)

財団が市川市より受託しているバラ園で活動しているボランティア団体(ローズオブいちかわ)に対して、活動に必要な資材の支援、又、新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことから、

ローズオブいちかわからの要望により、視察研修会を開催した。行き先は京成バラ園芸、北野先生に新種のバラの話やバラ園の案内をしていただいた。参加人数は49名。

④ 大洲防災公園 ナチュラルガーデンのボランティア支援(ナチュラルガーデンオブいちかわ)

大洲防災公園ローゼンハイム広場において、北野先生によるスキルアップ講座を行った。

⑤ 樹木管理ボランティア (グリーンサム市川)への支援

大洲防災公園内ローゼンハイム広場周辺の樹木管理、また、じゅんさい池緑地の茶庭の整備等を行うため、講師派遣、資材提供を行った。グリーンサム市川のパンフレット等を作成し、その作成費を助成した。

5. 市民の花バラの普及促進

市川市は1975年より市民の花を「バラ」と定めているが、当財団は、その普及促進活動を総合的に進めた。

① 普及啓発

財団のホームページにバラの情報を掲載、小冊子「由緒あるバラの街いちかわ」の配布等を行った。「由緒あるバラの街いちかわ」については令和4年10月より改訂作業を始め、令和5年9月に完成し、公共施設に配布した。

② バラ園維持管理

里見公園他6公園のバラ園について、草刈、薬剤散布、剪定等の管理を適切に行った。

また、計画的にバラ園の拡充整備、補植等を行い、市内のバラ園の拡充を図った。

③ バラ園をバラ育成体験学習の場、バラボランティア人材育成の場として活用

バラ園の一部について、バラ年間育成講座の体験学習の場として、また、バラボランティアの人材育成の場として活用した。

ローズオブいちかわ活動バラ園

- ・里見公園、須和田公園、大洲防災公園、行徳駅前公園、南行徳公園、
広尾防災公園、大町公園、京成八幡駅前ロータリー花壇

6. 公共施設における花と緑の普及促進

市民生活に密接に係わり、しかも都市景観の形成に効果的な公共施設をはじめ市街地において、積極的に花と緑の普及促進を図った。

① 市役所等公共施設における推進

市役所及び公民館、公共施設において市民の花バラをはじめ、花苗他園芸資材を支給し、普及促進した。又、市内小学校、中学校、保育園、幼稚園等にも花苗の配布を行った。

・市川市役所の花壇管理

市長室前にローズいちかわを含めた寄せ植えのプランターを10基設置し、管理を行ってきたが、令和5年度末で引き上げとなった。

令和5年度より、本庁舎南側花壇において、財団が草花を植栽し、維持管理を行った。

7月植栽 アリッサム他3種類 270株 11月植栽 サイネリア他1種類 351株

・公民館及び市内小中学校への花苗配布

公民館 13箇所 2,364株 小中学校及び保育園幼稚園 66箇所 9,432株

② 公共施設におけるバラ園管理及びバラ園周辺の植栽管理

市川市からの管理受託事業として、東山魁夷記念館駐車場花壇、塩浜体育館脇バラ園、第一庁舎駐車場入り口バラ園を、整備管理した。

また、大洲防災公園花壇等の一部において植栽、剪定、除草、刈込等の管理業務を受託し、市民に良好な公園づくりを通じて花と緑のまちづくりに努めた。

③ 公共施設の植栽維持管理

・里山環境保全管理業務委託

里山整備ボランティアの活動する都市緑地について、里山の環境に配慮した維持管理業務を令和4年度より受託し、ボランティアと共に令和5年度も引き続き行った。

・自然観察園草刈等業務委託

大町公園の自然観察園湿地内の草刈、自然観察園通路沿い急傾斜地の除伐、及び間伐業務を令和4年度より受託し、令和5年度も引き続き行った。

④ 桜並木整備

令和5年度は、市川市妙典びあパーク内において、新たに市川市が桜オーナーを募集し、財団が桜の植栽及び、記念プレートの作成を受託し、2月7日にオーナーと共に記念植樹式を行った。(妙典びあパーク 6本)

又、令和4年度に植栽した、北国分地域に植栽した16本の維持管理を行った。

7. 助成

花と緑のまちづくりを推進するために、各種助成事業を行った。

① 生垣助成

潤いのある緑豊かな環境づくりと地震や火災などの災害に対して強いまちづくりの一環として八幡地区において1件7.7mの生垣事業に助成した。

② 屋上緑化助成

都市の快適環境を創出すると共にヒートアイランド現象の緩和を図るための屋上緑化助成は申請がなかった。

③ 花壇設置助成

市川市が進める花と緑に満たされた魅力あるまちづくりのための花壇助成は八幡地区他、2件4.8㎡の助成を行った。

④ 駐車場緑化助成

駐車場を緑化することにより都市緑化を推進し、都市の快適環境を創出すると共にヒートアイランド現象の緩和及び良好な環境の創出を図るための駐車場緑化は、八幡地区他2件16.4㎡の助成を行った。

⑤ その他助成

令和5年度は該当なし。

第2 収益事業

1 自動販売機等の経営

里見公園他17公園において、財団が有償で土地を確保し、飲料水自動販売機50台とアイスクリーム自動販売機14台を設置している。(令和5年度より大町公園に新たに飲料水自動販売機等17台設置、うち2台アイスクリーム)。

財団は自動販売機会社から売り上げの一部を手数料として受け取り、公益目的を達成するために行う財団運営の一助とした。

第3 法人管理

1 基本財産の造成、管理及び運営事業

基本財産を安定的かつ効率的に運用し、利息収益の確保に努めた。